



2021年9月16日
すみだ北斎美術館

<報道関係者各位> 展覧会開催のお知らせ

すみだ北斎美術館では2021年10月12日(火)から12月5日(日)まで「学者の愛したコレクション —ピーター・モースと榑崎宗重—」展を開催いたします。概要をご高覧の上、ぜひご取材とご報道をお願いいたします。



学者の愛したコレクション
—ピーター・モースと榑崎宗重—



2021.10.12 | 火 | - 12.5 | 日 | すみだ北斎美術館
会場 10月12日(火) - 11月7日(日) 11月9日(火) - 12月5日(日) www.sumida-museum.jp
開館時間 9:30 - 17:30(入館は17:00まで) 休館日 毎週月曜日(祝祭日を除く) 主催 榑崎宗重氏 協賛 榑崎宗重氏 協力 榑崎宗重氏 協力 榑崎宗重氏

学者の愛したコレクション

—ピーター・モースと榑崎宗重—

会期 2021年10月12日(火)～12月5日(日) ※前後期で一部展示替えあり

前期 | 2021年10月12日(火)～11月7日(日)

後期 | 2021年11月9日(火)～12月5日(日)

当館では、北斎の研究者であり、世界有数の北斎作品コレクターであったピーター・モース氏と、葛飾派作品以外にも貴重で多種多様な資料を収集した浮世絵研究の第一人者・榑崎宗重氏の二大コレクションを有しています。本展ではピーター・モースコレクションより江戸時代の風俗・流行が窺える作品、榑崎宗重コレクションより江戸から昭和期にかけて特に人気や評価が高かったとされる絵師・画家の作品を厳選し、約140点を展観します。希少な北斎作品や、高名な絵師・画家たちによる貴重な作品の数々を展示し、両氏が生涯をかけて収集、研究した珠玉の名品に対するこだわりと研究業績を紹介します。

◆展覧会構成

- 1章 ピーター・モースコレクション (3階企画展示室)
- 2章 榑崎宗重コレクション(4階企画展示室)

◆ピーター・モースコレクションとは

—ピーター・モースとそのコレクション—

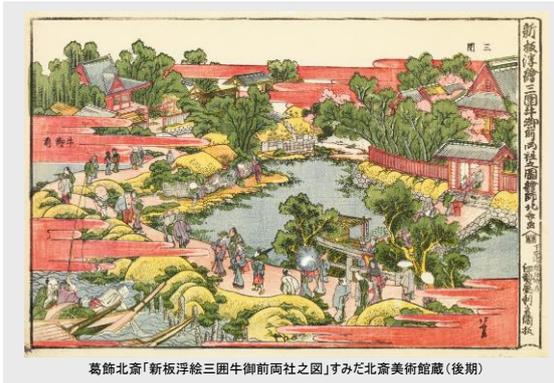
ピーター・モース(1935-93)氏は、北斎の「諸国瀧廻り」シリーズに関する論文を執筆、「百人一首乳母かゑとき」シリーズに関する単著『Hokusai: One Hundred Poets』を刊行し、また、北斎のカタログレゾネ(全作品目録)の作成を試みるなど、北斎の研究者であり、北斎作品の収集家でした。大森貝塚を発見したエドワード・モースの血縁(弟の曾孫)にもあたります。

北斎作品や研究資料など総数約600点に及ぶピーター・モースコレクションは、欧米における北斎の個人収集としては最高・最大の内容といわれており、研究者の眼で収集された希少価値の高い作品が多く含まれていることが特徴です。本章ではピーター・モースコレクションから95点の作品を展示します。

ピーター・モース氏が最も愛したシリーズ作品から 「新板浮絵三囲牛御前両社之図」

浮絵とは、遠近法を利用し奥行きを強調した形式を指します。「新板浮絵」と題して江戸の名所が描かれた本浮世絵版画シリーズは、赤いすやり霞が印象的で、現在 13 図が確認されています。ピーター・モースコレクションでは 12 図が収集され、**保存状態が極めて良く、ピーター・モース氏が最も大切にしていた作品群と伝わります。**

「新板浮絵三囲牛御前両社之図」は、画面の左側に牛御前(現: 牛嶋神社・墨田区向島)、右側に三囲稲荷(現: 三囲神社・同)が配され、それぞれ参詣に向かう人々の賑わいが細かな風俗描写とともに表されています。



葛飾北斎「新板浮絵三囲牛御前両社之図」すみだ北斎美術館蔵(後期)

お詣りの行き帰りの人で賑わう道中。人々の風俗も細かく描写されています。



鮮明な空摺が白眉

ピーター・モースコレクションの「富嶽三十六景 武州玉川」



葛飾北斎「富嶽三十六景 武州玉川」すみだ北斎美術館蔵(前期)



色を転写せず、凹凸をつけることだけで川面の波紋を表現。くつきり確認できるのは稀少です！

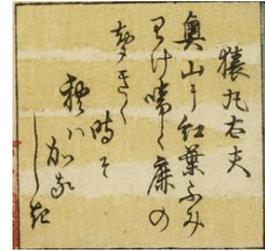
「富嶽三十六景 武州玉川」は、現在の東京都と神奈川県の間を流れる多摩川に浮かぶ一艘の舟と、たなびく霞の向こうに富士山を望む情景が描かれ、川面の波に凹凸だけで表す空摺(からずり)が使われた作品です。

空摺は後摺(あとずり)では省略されることの多い手の混んだ技法です。現存する同じ構図の作品は、版木の摩耗により空摺がはっきりとしないものや、波形を藍色の線で摺った後摺が多いことから、**空摺が鮮明に見える本図は、初摺か初摺に極めて近い稀少性の高い逸品といえます。**

ピーター・モース氏が単著にまとめたシリーズ作品 「百人一首乳母かゑとき」より「猿丸太夫」



葛飾北斎「百人一首乳母かゑとき 猿丸太夫」すみだ北斎美術館蔵（前期）



鹿に視線を誘導する
構図にも注目！

「百人一首乳母かゑとき」は、年齢の高い女性または乳母が、子どもに百人一首を絵で説明するという趣旨のタイトルです。北斎の大判錦絵(*1)のシリーズの中で最後に制作されたものにあたり、現在 27 図が確認されています。それまでの北斎大判錦絵シリーズと比較すると、色数が多いことや細部にわたって凝らされた表現が特徴です。

本図は百人一首のうち猿丸太夫(さるまるだゆう)の「奥山に紅葉ふみわけ啼(な)く鹿の 声きく時ぞ秋はかなしき」の絵解きとして描かれています。画面全体では秋の夕暮れの風景が描かれ、手前を横切る女性が指さす先(画面左上の丘の上)に、鹿がシルエットで表現されています。ピーター・モース氏はこうした構図の工夫などから、著書『Hokusai: One Hundred Poets』で「この作品は多くの点から見てまったく完璧な絵である。」と評しています。

*1 大判錦絵 | 約 39cm × 26~27cm の錦絵(浮世絵の多色摺り木版画)のこと。大判は天明年間(1781-89)以降に標準サイズになった判型で、北斎の錦絵では「富嶽三十六景」、「諸国瀧廻り」、「諸国名橋奇覧」や「百人一首乳母かゑとき」が大判錦絵で制作されました。

◆ 榎崎宗重コレクションとは

— 榎崎宗重とそのコレクション —

榎崎宗重(1904-2001)氏は、昭和から平成にかけて活動した美術史家です。戦前より浮世絵雑誌の発行に携わり、国際浮世絵学会の前身である日本浮世絵協会(第二次・第三次)を設立し、会長などをつとめました。また、戦後間もない時期に『北斎論』を刊行し北斎研究の分野でも活躍し続け、浮世絵を美術史の中で学問的に位置づけることに尽力しました。

これらの研究活動の中で収集された榎崎コレクションは、美術史研究上、貴重な美術資料・歴史資料を含んでおり、すみだ北斎美術館では約 480 点を所蔵しています。本章では、榎崎コレクション作品の中から北斎をはじめ様々な絵師、時代、形態のものを、一部榎崎氏が著した作品解説とともに紹介します。

北斎の画法を継承した葛飾派の絵師の作品

蹄齋北馬「夕立図」

茶屋に集う人々の風俗が詳細に描写されています。



蹄齋北馬「夕立図」すみだ北斎美術館蔵(前期)

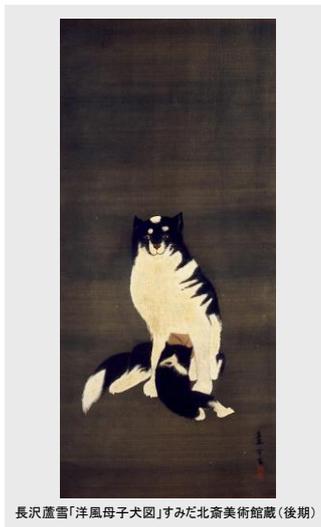


蹄齋北馬(ていさいほくば)は、魚屋北溪(ととやほっけい)とともに、北斎の門人の中でも優れた浮世絵師として知られ、北斎の画法を継承しながら独自の画風を確立、文政年間(1818-30)からは肉筆画に注力し、美人画を多くのこした浮世絵師です。

榑崎宗重コレクションの本作は、縦 54.3cm、横 86.0cm の大きな画面に、夕立に見舞われる峠の茶屋の様子が描かれた肉筆画です。茶屋でくつろぐ人や、商いをする人々、雨宿りする人など様々な人物の様子が詳細に描き込まれており、**風俗描写に秀でた北馬の特徴をよく表す作品です。**

蘆雪がこだわった犬の毛の質感

長沢蘆雪「洋風母子犬図」



長沢蘆雪「洋風母子犬図」すみだ北斎美術館蔵(後期)



顔料を厚く塗っており、西洋の油彩画のような描法で表現されています。

長沢蘆雪(ながさわろせつ)は、円山応挙に学んだ江戸時代中期の画家です。

母犬と乳を飲む子犬が描かれた本作は、毛並みの 1 本 1 本がわかるほど描きこまれていることから、熱心な写生や質感の追及がうかがえます。**胡粉をはじめ日本の伝統的な画材が使われていますが、顔料を厚く塗るなど、西洋の油彩画を強く意識して描かれた作品です。**美術雑誌『國華』の 865 号(1964 年)に掲載された榑崎氏による解説では、西洋の油彩画を意識した描法や、地紙に鼠唐紙(*2)を使用したことによる洋風の効果が指摘されています。

*2 鼠唐紙 | 唐紙は中国渡来の紙に模して作られた紙で、本作では全体に暗灰色を塗ったものが使われています。

～榑崎宗重氏による「洋風母子犬図」解説～

…縦横に細い紙。すき目が通っており、これにやや黒味がちな鼠色の黒色に地色を施してある。多少のつやを帯びているのは、ドウサをひいてあるためであろうか。(中略。)また一見白い肌とみえるが、毛並みを描いて、犬の皮膚の実感を出そうと苦心している。熱心な写生の努力がうかがえるのである。そこには、洋風の写生を追及している意図がくみとれるわけで、鼠唐紙といった紙の使用も、背色に洋風の効果を発揮しようとしての試みであることが知られる。(『國華』865号、1964年)

榑崎氏と直接交流があった 版画家・川瀬巴水の作品



川瀬巴水「雪の寺」すみだ北斎美術館蔵(前期)

川瀬巴水の抒情的な風景
版画の作風をよく表す作品
です。

川瀬巴水(かわせはすい)は、大正から昭和時代に活動した版画家です。近年、巴水をはじめ、新版画(*3)の版画家の名を冠した展覧会が次々と開かれ、注目が高まっています。巴水と生前から交流があった榑崎氏は、巴水に取材を重ねて論考を発表するなど、早くから巴水の版画芸術の評価を試みました。榑崎コレクションの「雪の寺」は、小品(17.8cm×12.9cm)ながらも、「旅情詩人」とも称される巴水の作風をよく表しています。

*3 新版画 | 江戸時代の浮世絵版画の技法を継承し、大正から昭和初期に制作された新しい木版画のこと。

◆開催概要

展覧会名	学者の愛したコレクション —ピーター・モースと榑崎宗重—
会期	2021年10月12日(火)～12月5日(日)※前後期で一部展示替えあり 前期 2021年10月12日(火)～11月7日(日) 後期 2021年11月9日(火)～12月5日(日)
休館日	毎週月曜日
開館時間	9:30～17:30(入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/gakusha/

- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。
- 最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

◆企画展観覧料 ※AURORA(常設展示室)観覧料含む

	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円	無料
団体	800円	560円	560円	240円	240円	無料

- 本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)をはじめ全ての展示をご覧になれます。
- 団体でのご来館は、当面の間、受付を行いません。

◆既刊図録をミュージアムショップで販売します。

ピーター・モースコレクション、榎崎宗重コレクションには、本展で展示した作品のほか数多くの名品があります。各コレクションについては、図版や解説をまとめた既刊図録があります。

■『墨田区所蔵 ピーター・モース コレクション 北斎図録』 (墨田区文化振興財団 編集・発行、2009年)

空摺が楽しめる「富嶽三十六景 武州玉川」や、藍摺の「富嶽三十六景 甲州石班沢」など希少価値の高い作品をはじめ、500点を超えるピーター・モースコレクションの北斎作品すべてをカラー図版で掲載。同コレクションには北斎の主な6つの時期の落款(春朗、宗理、北斎、戴斗、為一、卍)が含まれるため、本書を通して北斎の画業を辿ることができます。解説や作品の詳細データに加え、モース氏の論文も収録しています。

・仕様 | A4 変形判 ハードカバー 160ページ 定価 2,500円(税込)



■『榎崎宗重博士収集 美術品図録』 (墨田区文化振興財団 編集・発行、2005年)

榎崎宗重コレクションの美術作品と資料について、図版に加え、分類後の目録や各作品の詳細データを掲載。作品が絵画、墨蹟、地誌資料、中国書画など多分野にわたることから、主な作品には各分野の専門家による解説も収録しています。

・仕様 | B5判 箱入 ハードカバー 132ページ 定価 5,000円(税込)



上記の図録は、本展会期中、ミュージアムショップにて販売いたします。

| 入館方法のご案内 |

当館では、新型コロナウイルス感染症の感染・拡散を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、以下のお願いがあります。ご来館前に必ずご一読いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、当館では入館のための日時指定予約を行っておりません。ご希望の日時にお越しください。館内・展示室内・ミュージアムショップ内が混雑し、一定の人数を超えた場合は入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

なお、今後予告なしに展覧会の会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

| ご来館のお客様へのお願い |

- 発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。
- **入館前の検温と手指消毒**
入館時に検温と手指の消毒をお願いしています。
チケットカウンターに自動検温/手指消毒器(非接触型)を設置しています。検温の結果 37.5℃以上の発熱が確認された場合は、入館をご遠慮ください。咳・のどの痛み・発熱・倦怠感などの症状があるお客様は入館をお控えください。消毒のご協力が難しい際は、入館をご遠慮いただく場合がございます。

ミュージアムショップ入口に手指消毒液を設置しています。入店時には再度手指の消毒をお願いしています。
- <ご観覧前/後>
4 階の AURORA(常設展示室)にはタッチパネルがあります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。
- **マスク着用**
館内ではマスクご着用を必ずお願いいたします。咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」(マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかり覆う)にご協力ください。
- **観覧券保管**
入館日の確定のため、観覧券半券はお持ち帰りの上、保管をお願いいたします。
- **入場制限**
館内滞在人数によっては、入館制限、展示室の入場制限、ミュージアムショップの入場制限を実施することがあります。
- **エレベーター定員**
エレベーターの定員を 2 名に制限しております。ご家族や介助者の方は同時にご利用いただけます。
- **展示室、ミュージアムショップをはじめ、館内での会話はお控えください。**
- **展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。**

| すみだ北斎美術館の感染予防対策 |

- お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は 1 日 4 回の消毒作業を実施しております。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないため乾拭きのみ実施しております。
- お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。
受付・ショップにウイルス飛沫予防のパネルを設置しております。
- 良好な館内環境を保つため、入館制限やお声掛けを行う場合がございます。
- 図書室、MARUGEN100(講座室)は当面のあいだ閉室いたします。
- 新規の団体ご予約、MARUGEN100(講座室)ご利用受付は当面の間中止いたします。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◆学者の愛したコレクション —ピーター・モースと榑崎宗重— 展覧会広報用 作品画像請求紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

◀ 画像貸出に関して注意事項 ▶

- ・画像を使用の際は、クレジット全文(作家名・作品名・所蔵先・展示期間)の表記が必須となります。
- ・画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・画像は全図でご掲載ください(部分図のみの使用は不可となります)。
- ・ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

ピーター・モースコレクションより

1. 葛飾北斎「新板浮絵三囲牛御前両社之図」すみだ北斎美術館蔵(後期)

2. 葛飾北斎「富嶽三十六景 武州玉川」すみだ北斎美術館蔵(前期)

3. 葛飾北斎「百人一首乳母かゑとき 猿丸太夫」すみだ北斎美術館蔵(前期)

榑崎宗重コレクションより

4. 蹄齋北馬「夕立図」すみだ北斎美術館蔵(前期)

5. 長沢蘆雪「洋風母子犬図」すみだ北斎美術館蔵(後期)

6. 川瀬巴水「雪の寺」すみだ北斎美術館蔵(前期)

貴社名
貴媒体名
部署名 (役職名)
ご芳名
ご連絡先 TEL FAX E-mail
ご掲載・放送予定 月 日
備考 ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ

TEL: 03-6658-8991 / FAX: 03-6658-8992

Email: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

◆今後の企画展のお知らせ

展覧会名	北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—
会期	2021年12月21日(火)～2022年2月27日(日)※前後期で一部展示替えを予定 前期 12月21日(火)～1月23日(日) 後期 1月25日(火)～2月27日(日)
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月1日) ※開館:1月3日(月)、1月10日(月・祝)、休館:1月4日(火)、1月11日(火)
開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館

本展では日本の歴史に焦点をあて、葛飾北斎やその弟子などが歴史上の人物や事件を描いた作品を集めます。主に高等学校の日本史の授業で習う人物や事件を軸にしますが、当時の歴史観に基づき神話の時代から安土桃山時代、そして北斎の生きた江戸時代の歴史的事象を描いた作品、弟子の描いた明治時代の錦絵までを展示します。紫式部や武田信玄など、どこかで名前をきいたことがある、あの人も登場しますので、今までイメージしていた人物像と比べながら、北斎を身近に感じていただくと幸いです。

- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。
- 最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

◆すみだ北斎美術館 (The Sumida Hokusai Museum)

開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、 年末年始(12月29日～1月1日)
所在地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/
Twitter	https://twitter.com/HokusaiMuseum/
Facebook	https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
YouTube	https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg
アクセス	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
TEL: 03-6658-8991 / FAX: 03-6658-8992
Email: hm-pr@hokusai-museum.jp

